

第3次八幡平市総合計画

# 前期基本計画



# 目次 Contents

<b>第1編</b>	<b>総論</b>	33
第1章	総説	33
第1	基本計画策定の趣旨	33
第2	計画の期間	33
第3	基本計画の性格	33
第2章	施策の体系	36
<b>第2編</b>	<b>施策別計画</b>	38
第1章	魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり	38
第1	子ども・若者向けの支援の充実	38
第2	移住定住対策の強化	41
第3	地域コミュニティの活動支援	44
第2章	豊かな地域資源を生かしたまちづくり	46
第1	新たな工業団地造成による企業誘致の促進	46
第2	豊かな自然環境を活用した産業振興	47
第3	観光振興と第一次産業の連携	50
第4	交流人口・関係人口の更なる創出	51
第5	商業の拠点づくり	53
第6	豊かな自然（再生可能）エネルギーの積極的な活用	55
第7	経済活性化と環境保全の両立	56
第3章	健やかで、うるおいに満ちたまちづくり	58
第1	心身ともに健やかに暮らせる社会の推進	58
第2	地域で支えあう福祉の推進	61
第3	安心できる医療の充実	63
第4章	学ぶ喜びにあふれたまちづくり	64
第1	地域に根ざした子どもの教育の充実	64
第2	文化・芸術に取り組む環境づくり	67
第3	スポーツ・生涯学習に取り組む環境づくり	69
第5章	安心・安全で快適なまちづくり	71
第1	社会基盤の維持・整備	71
第2	持続可能な公共交通の確保	74
第3	災害・事故・犯罪への対応、危機管理	77
第4	自治体経営（行政サービスの向上）	79
<b>資料編</b>		83
	前期基本計画主要事業（R8～R12）	84
	財政の見通し	91
	まちづくりアンケート集計結果	95
	計画策定の経緯	114
	総合計画審議会委員名簿	116
	八幡平市総合計画審議会条例	117

注：本文中の各種指標・統計等に係る表は、原則として年度単位として集計・記載していますが、項目によっては暦年による集計、出典先に基づく個別の期間・基準による集計があります。

### 第1 基本計画策定の趣旨

基本計画は、八幡平市の将来像やまちづくりの基本的な方針について定めた「八幡平市総合計画基本構想」の施策に基づき、具体的な施策の方向性と目標とする成果指標を定めるものであり、まちづくりの具体的な施策体系を示すとともに、市勢発展の基礎となる計画・行政運営の指針となるものです。

### 第2 計画の期間

基本構想に掲げる将来像、まちづくりの基本目標及び施策に基づき、具体的な施策の方向性や取り組みの方針を示し、5か年をひとつの区切りとして事業等を実施するものとし、令和8年度から令和12年度までの5年間を前期基本計画、令和13年度から令和17年度までの5年間を後期基本計画とします。



### 第3 基本計画の性格

#### 1 基本的な方向

この計画は、基本構想に掲げた将来像をはじめ、各施策の方向性を具体化するとともに、市勢発展に資するため、当面の課題及び将来において想定される課題に対応し、各分野における行政施策を総合的かつ計画的に行うための方向を示すものです。

#### 2 計画の範囲

この計画は、市の広範な地域課題に対処するための計画であり、国、県及び盛岡広域圏その他の公共機関への要望事業や、地域団体、民間団体に期待する事業も含まれます。

### 3 他の計画との関係

この計画は、国、県及び盛岡広域圏による各種計画及び連携中枢都市圏の形成に係る連携協約等との調整を図り推進するものです。

また、本計画に基づき策定される各分野の個別計画のほか、各地域振興協議会による地域計画の推進とあわせ、市民と行政の協働によるまちづくりを具体化するものであり、その活動の指針となるものです。

### 4 SDGsとの関係

SDGs（「持続可能な開発目標」）は、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、17のゴール（目標）と169のターゲット（具体目標）で構成されています。

国だけでなく市町村レベルでの積極的な取り組みが重要であり、SDGsの理念を取り入れまちづくりを推進することは、住民の生活の質の向上や地方創生に貢献し、目標達成につながります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 5 デジタル技術の活用

デジタル技術やAI<sup>1</sup>（人工知能）の活用により、産業、医療・福祉、教育など様々な分野でDX<sup>2</sup>（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、行政サービスの質の向上や効率化、市民の利便性の向上に取り組めます。

<sup>1</sup> AI（人工知能）：「Artificial Intelligence」の略称で、学習・推論・判断といった人間の知的能力を備えたコンピューターシステムや技術

<sup>2</sup> DX（デジタルトランスフォーメーション）：情報通信技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

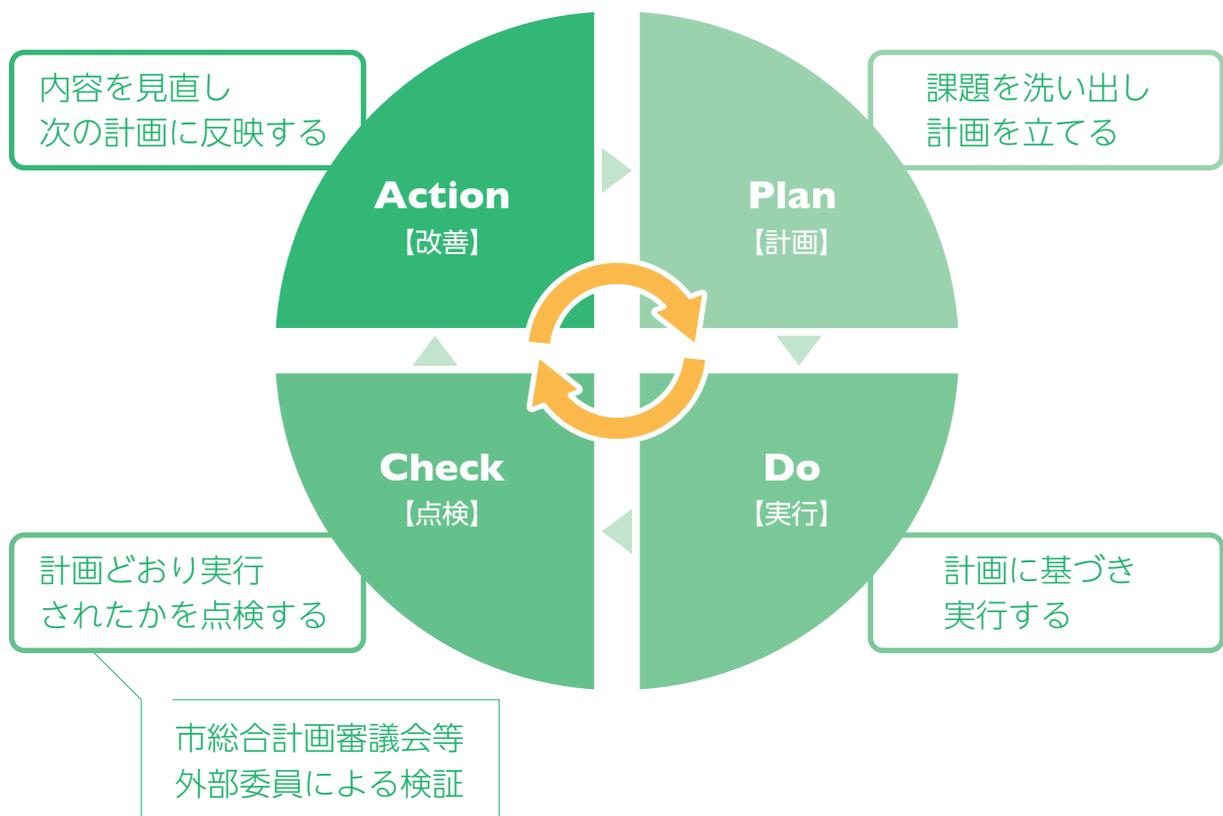
## 6 計画の実効性の確保

この計画は、今後の社会情勢の動向や変化に対応できるよう柔軟性を持つものです。

行政評価により各施策の目標と達成度を確認するとともに、実施計画における各事務事業についても定期的な点検、調整及び評価等を行い、計画と実態が乖離しないように弾力的な調整を図りながら、計画の実効性を確保するものです。

## 7 計画の推進（進行管理）

計画の推進にあたっては、課題解決のため、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）のPDCAサイクルにより進行管理を行い、将来像の実現に向け、成果指標を活用した施策の効果検証を行います。



# 施策の体系

市の将来像を実現するため、施策の基本的な方向を次のとおりとします。  
将来像の実現には、複数の施策や分野の連携が必要であることから、組織間の横断的なつながりを持ちながら、取り組みを推進します。

将来像

## 次世代に希望をつなぐ八幡平市

5つの基本目標と20の施策

### 1 魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり

- 1 子ども・若者向けの支援の充実
- 2 移住定住対策の強化
- 3 地域コミュニティの活動支援

### 2 豊かな地域資源を生かしたまちづくり

- 1 新たな工業団地造成による企業誘致の促進
- 2 豊かな自然環境を活用した産業振興
- 3 観光振興と第一次産業の連携
- 4 交流人口・関係人口の更なる創出
- 5 商業の拠点づくり
- 6 豊かな自然（再生可能）エネルギーの積極的な活用
- 7 経済活性化と環境保全の両立

### 3 健やかで、うるおいに満ちたまちづくり

- 1 心身ともに健やかに暮らせる社会の推進
- 2 地域で支えあう福祉の推進
- 3 安心できる医療の充実

### 4 学ぶ喜びにあふれたまちづくり

- 1 地域に根ざした子どもの教育の充実
- 2 文化・芸術に取り組む環境づくり
- 3 スポーツ・生涯学習に取り組む環境づくり

### 5 安心・安全で快適なまちづくり

- 1 社会基盤の維持・整備
- 2 持続可能な公共交通の確保
- 3 災害・事故・犯罪への対応、危機管理
- 4 自治体経営（行政サービスの向上）

## 各施策とSDGsのゴールとの関係



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊さを守ろう	陸の豊さを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう

基本目標		施策																
1 魅力にあふれ、 希望にもえる まちづくり	子ども・若者向けの 支援の充実	●	●	●	●	●			●	●	●					●	●	
	移住定住対策の強化								●		●					●	●	
	地域コミュニティの 活動支援				●	●					●					●	●	
2 豊かな 地域資源 を生かした まちづくり	新たな工業団地造成に よる企業誘致の促進				●			●	●	●	●	●					●	
	豊かな自然環境を 活用した産業振興		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	観光振興と第一次産業の 連携							●	●	●	●				●		●	
	交流人口・関係人口の 更なる創出							●			●						●	
	商業の拠点づくり		●					●	●		●	●					●	
	豊かな自然(再生可能)エ ネルギーの積極的な活用				●			●	●		●	●	●	●	●		●	
	経済活性化と 環境保全の両立	●		●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
3 健やかで、 うるおいに 満ちた まちづくり	心身ともに健やかに 暮らせる社会の推進		●	●		●					●					●	●	
	地域で支えあう 福祉の推進	●		●	●	●				●	●					●	●	
	安心できる医療の充実			●							●						●	
4 学ぶ喜びに あふれた まちづくり	地域に根ざした子ども の教育の充実				●	●				●	●						●	
	文化・芸術に取り組む 環境づくり				●						●				●		●	
	スポーツ・生涯学習に 取り組む環境づくり			●	●						●					●	●	
5 安心・安全で 快適な まちづくり	社会基盤の維持・整備			●			●	●		●	●	●	●	●		●	●	
	持続可能な公共交通の 確保							●	●		●						●	
	災害・事故・犯罪への 対応、危機管理			●	●	●					●	●				●	●	
	自治体経営 (行政サービスの向上)				●	●		●	●	●	●				●	●	●	
5	20	3	4	8	12	8	3	5	12	9	7	20	6	5	1	7	9	20

## 第1章

# 魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり

市の魅力を最大限に活かし、住んでよかった、選んでよかったと思えるまちづくりを目指し、移住・定住の取り組みを推進するとともに、地域全体で安心して子育てができる希望に満ちたまちを目指します。

### 第1 子ども・若者向けの支援の充実



#### (1) 現状と課題

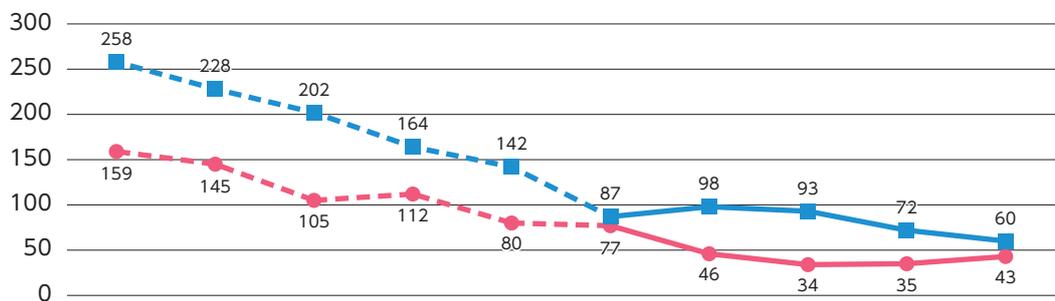
少子化の進行により、年少人口・生産年齢人口の減少が続き、地域の産業・教育・コミュニティ活動に深刻な影響を及ぼしています。

結婚組数の減少も出生数低下の一因となっており、人口減少の抑制には、安心して結婚・出産・子育てができる環境整備が不可欠であり、妊娠・出産時の給付金をはじめとする様々な子育て支援策を講じてきましたが、人口減少は依然として続いています。

今後は、ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実、子育てと就労の両立を支える仕組みづくりが求められます。

#### ① 出生数と結婚組数の推移

(単位：人、組)



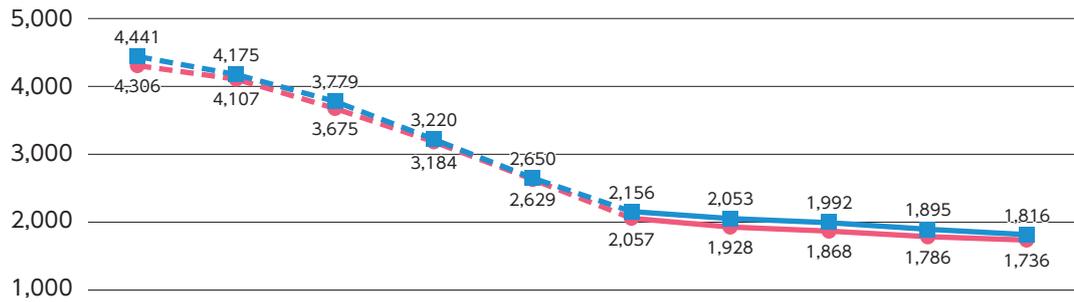
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出生者数	258	228	202	164	142	87	98	93	72	60
結婚組数	159	145	105	112	80	77	46	34	35	43

資料：出生数は岩手県人口移動報告年報、結婚組数は岩手県保健福祉年報 (R6は市届出件数)

※ R2以前は参考値として5年毎の推移を記載

② 15～39歳男性・女性人口の推移

(単位：人)



	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	4,441	4,175	3,779	3,220	2,650	2,156	2,053	1,992	1,895	1,816
女性	4,306	4,107	3,675	3,184	2,629	2,057	1,928	1,868	1,786	1,736

資料：H7～R2国勢調査、R3～岩手県人口移動報告年報

※ R2以前は参考値として5年毎の推移を記載

③ 保育実施状況（公立保育所）

(単位：人)

保育所名	定員 (R6)	令和元年度末	令和6年度末	児童数の推移
寺田保育所	60	39	18	△ 21
松尾保育所	150	※ 102	62	△ 40
柏台保育所	45	29	13	△ 16
田山保育所	50	26	13	△ 13
合計	305	196	106	△ 90

資料：健康こども課

※ 統合前の松野保育所、寄木保育所の計

④ 保育実施状況（私立保育園等）

(単位：人)

保育所名	定員 (R6)	令和元年度末	令和6年度末	児童数の推移
東慈寺保育園	60	80	61	△ 19
杉の子こども園	90	98	85	△ 13
森の子保育園	20	26	11	△ 15
平舘こども園	90	90	64	△ 26
大更こども園	100	99	97	△ 2
あしろこども園	50	50	27	△ 23
畑保育園	12	16	23	7
ままいろはうす	5	5	4	△ 1
合計	427	464	372	△ 92

資料：健康こども課

## (2) 施策の方向性

若者世代や子育て世代が希望を持って暮らせる地域社会の実現を目指し、以下のとおり支援の充実を図ります。

交流複合施設にチャレンジショップやカフェなどを設置し、魅力的な雇用の場や気軽に集える場を創出するとともに、特に若い女性が一度転出して戻ってきてももらえるような魅力のある雇用をつくるなど、若者世代のニーズに合わせた各種プログラムを企画・実施し、市内結婚組数の増加と定住促進を目指します。

また、こども家庭センターの機能強化により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するとともに、子ども・子育て会議や民間団体との連携を深め、地域全体で子どもを育む仕組みを構築します。

保育サービスの充実を図り待機児童数0の継続、病児・病後児保育の検討など働きながら子育てのしやすい環境の整備に加え、子どもの貧困問題に対し、学習支援や居場所づくりなど多角的な支援を国・県と連携して進めます。

## (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
出生数	109人	60人	80人	岩手県人口移動報告年報
15～39歳女性人口	2,082人	1,736人	1,750人	岩手県人口移動報告年報
保育所待機児童数(年度末)	14人	0人	0人	健康こども課

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目(目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「子育てしやすい市だと思う人」の割合	46.8%	44.1%	60.0%

### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市人口ビジョン
- 八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 八幡平市地域福祉計画
- 八幡平市子ども・子育て支援事業計画
- 八幡平市男女共同参画計画

## 第2 移住定住対策の強化



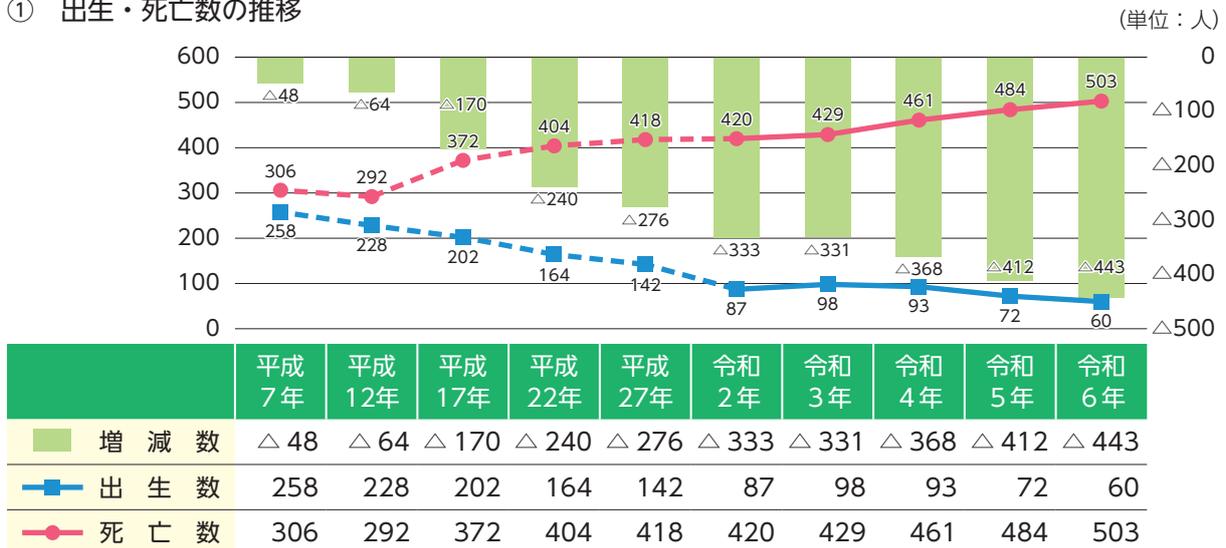
### (1) 現状と課題

人口減少は、自然減・社会減の両面で進行しており、特に若年女性の転出などによる出生数の減少が深刻な課題です。出生数の減少及び死亡数の増加による自然減の状況、転出者が転入者を上回る社会減の状況が続いていましたが、近年、外国人を含めると社会減に改善の傾向がみられています。

進学や就職による転出は一定程度避けられないものの、就業・子育て世代の定着促進やUターン・Iターンの受け入れ強化が必要です。

また、人口減少は集落の維持にも影響を及ぼしており、若年層だけでなく、元気な高齢者の活躍による地域支え合いの仕組みづくりが重要です。

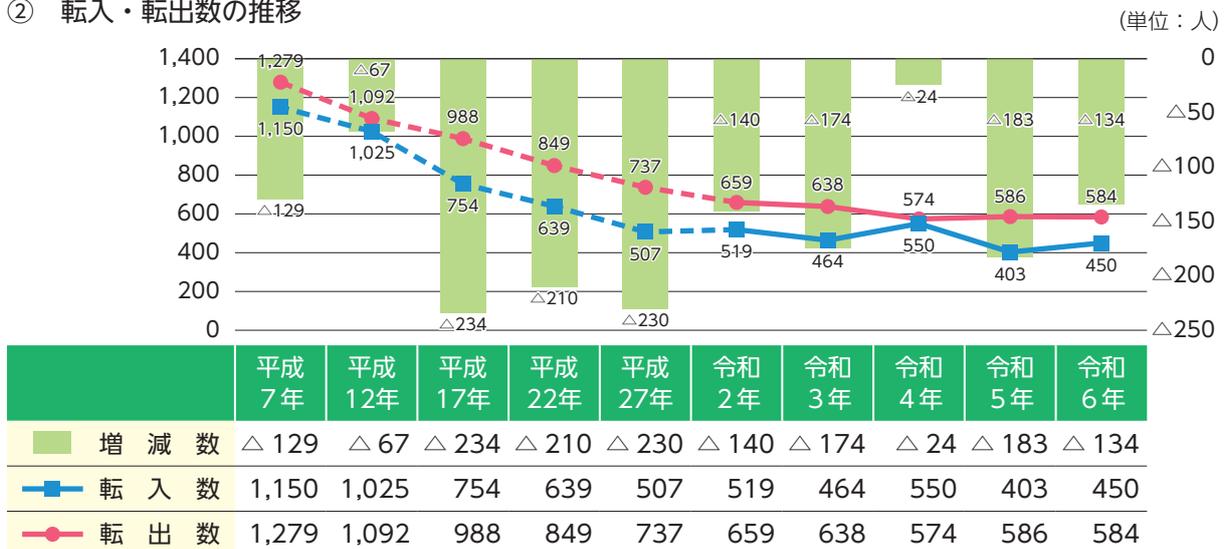
#### ① 出生・死亡数の推移



資料：岩手県人口移動報告年報（外国人を含まない）

※ R2以前は参考値として5年毎の推移を記載

#### ② 転入・転出数の推移



資料：岩手県人口移動報告年報（外国人を含まない）

※ R2以前は参考値として5年毎の推移を記載

### ③ 平館高等学校就職率

(単位：%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
盛岡管内就職率	79.4	84.6	87.5	87.5	83.3	78.1
市内就職率	55.9	41.0	58.3	33.3	55.6	37.5

資料：平館高等学校

## (2) 施策の方向性

市民が幸せに暮らし「八幡平市に住んでよかった」と感じることができる、また、移住者も含めみんなが誇りを持てるまちづくりを目指し、以下のとおり支援の充実を図ります。

移住定住センターを設置し、移住定住に関する様々な相談や住居の確保までの一貫した支援体制を構築するとともに、移住者だからこそ気付くことができる市の魅力を効果的に発信します。併せて、盛岡広域圏への通勤の利便性を積極的にPRします。

また、若者向けの住宅団地を整備し定住を促すとともに、空き家を移住者向け住宅や起業拠点として活用できるよう支援します。併せて、出会いの場・気軽に集まることができる場の創出に努めます。

集落の維持については、若年層の定着を促すとともに、都市部からの移住者も地域活動に参加できる仕組みを構築します。



親子で楽しむ森林ふれあい学習館「フォレストi」

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
結婚組数	62組	35組 (※ R5)	50組	岩手県保健福祉年報
転入率	2.05%	2.02%	2.20%	転入数／人口 (岩手県人口移動報告年報)
転入者アンケートによる 自らの意思による転入者の割合	—	33.03%	40.00%	まちづくり推進課
移住相談者の数	36人	127人	150人	まちづくり推進課
平舘高等学校盛岡管内就職率	79.4%	78.1%	85.0%	平舘高等学校

#### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目（目指す指標）	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「市内の雇用、働き先は充実していると感じる人」の割合 「そう思う」・「ややそう思う」の合計	8.9%	9.1%	20.0%
「住みやすい市だと思う人」の割合 「そう思う」・「ややそう思う」の合計	46.4%	34.1%	60.0%

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市人口ビジョン
- 八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略



八幡平ふるさと花火まつり

## 第3 地域コミュニティの活動支援



### (1) 現状と課題

市内12の地域振興協議会は、コミュニティセンターを拠点に特色ある地域づくりを推進しています。人口規模や地理的条件の違いにより、地域間の取り組みに格差が生じないように、行政との連携と支援の強化が求められます。

また、自治会主体の地域活動においては、20代、30代の現役世代の参加が少ない傾向にあり、仕事や家庭の事情を考慮した柔軟な運営や参加しやすい仕組みづくりを通じて、地域活動の持続的な展開が重要です。

#### ① コミュニティセンター利用状況 (令和6年度) (単位：人)

名称	区域内人口	利用者数
大更コミュニティセンター	7,287	19,258
田頭コミュニティセンター	2,722	10,291
平舘コミュニティセンター	2,344	8,054
寺田コミュニティセンター	1,661	5,289
松尾コミュニティセンター	5,378	5,280
細野コミュニティセンター	223	1,209
畑コミュニティセンター	480	1,600
荒屋コミュニティセンター	984	2,620
五日市コミュニティセンター	447	1,213
浅沢コミュニティセンター	311	5,240
田山コミュニティセンター	938	3,091
舘市コミュニティセンター	174	499
合計	22,949	63,644

資料：まちづくり推進課、住民基本台帳 (R7.3.31 人口)

## (2) 施策の方向性

市民参画による持続可能な地域社会の構築を目指し、各地域に設置されたコミュニティセンターを拠点に、各地域振興協議会を中心に地域計画を策定し活動が継続されており、地域の個性を活かした取り組みが展開されています。

女性・若者・移住者・外国人など多様な主体の参画を促進し、地域活動の担い手の確保と活性化を図ることにより、共生社会の実現を目指します。また、地域において今後を担う子育て世帯の重要性を共有し、地域ぐるみでの見守り体制の構築を推進していきます。

さらに、地域の慣習などアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み・偏見）への気付き、解消について、「多様な価値観への理解」などについて啓発を図り、地域に溶け込みやすい環境づくりを進めます。

老朽化した集会施設の改修や新設に対する補助制度を継続し、地域コミュニティの基盤強化に努めます。

## (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
コミュニティセンター利用者数	82,341人	63,644人	80,000人	社会教育基本調査
協働によるまちづくり推進事業 (地域づくり一括交付金)の事業実施数	—	133件	150件	まちづくり推進課

### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目(目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「自治会などの地域活動に参加した人」の割合	50.3%	44.1%	51.0%

### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市過疎地域持続的発展計画
- 八幡平市再犯防止推進計画



寺田コミセンまつり

## 第2章

# 豊かな地域資源を生かしたまちづくり

地域に息づく環境と調和しながら、再生可能エネルギーなどの豊かな資源を最大限に活用した産業振興を図り、地域経済が発展するまちづくりを目指します。

### 第1 新たな工業団地造成による企業誘致の促進



#### (1) 現状と課題

市内では工業用地が不足しており、新規操業が停滞していることから、企業誘致の促進に向けた用地整備と受入環境の充実が急務です。

また、市内企業の人材確保も喫緊の課題であり、求人情報の周知や総合的な支援体制の構築が求められています。加えて、次世代産業の育成に向けて、起業・創業支援の強化も重要な取り組みとなっています。

#### ① 誘致企業数

(単位：件)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
企業数(累計)	26	27	27	26	26	26

資料：商工観光課

#### (2) 施策の方向性

産業の持続的な発展と、市民が働きがいを持って活躍できる活力ある地域社会の実現を目指し、以下のとおり産業の育成と雇用の創出を図ります。

既存の工業団地の有効活用に加え、再生可能エネルギーを活用できる新たな産業団地を造成します。多様なニーズに対応した用地整備を進め、成長分野の企業誘致を積極的に行い、高付加価値産業の集積を図ります。併せて、専門的な人材や労働者を受け入れ、産業の活性化を図ります。

市内企業の魅力を伝える情報発信を強化し、新卒者だけでなくUターンやIターン希望者への情報提供を充実させ人材確保を図るとともに、地元高校などと連携した企業見学を推進し、若者の地元企業への関心を高めます。

空き家や空き店舗を活用した創業拠点を整備し、新たな事業の創出と地域活性化を促します。

#### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
誘致企業数(操業中)	26社	26社	27社	商工観光課
起業件数(累計)	8件	12件	17件	商工観光課
平舘高等学校盛岡管内就職率 ※再掲	79.4%	78.1%	85.0%	平舘高等学校

## 第2 豊かな自然環境を活用した産業振興



### (1) 現状と課題

農作業の効率化や生産コストの低減など、持続可能な農業の確立が求められています。中山間地に多く見られる狭小・未整備農地などの条件不利地や生産者の高齢化、後継者不足による農業経営体の減少により、耕作放棄地の増加が懸念されています。このため、地域単位での作付計画の策定と、産地形成に向けた一体的な取り組みが必要です。

水稻、花き、野菜、畜産などのバランスのある産地を維持しつつ、新規就農支援などによる経営体数の維持が重要です。リンドウは市場ニーズに応じた品種育成、高温化への対応が課題です。

地元農産物の消費拡大に向けては、市外利用者も視野に入れた地産来消の促進や、農産物を活用した他業種との連携が求められます。

市の総面積の約73%を占める森林は、水源涵養やCO<sub>2</sub>吸収などの公益的機能を維持するため、計画的な森林施業の推進が求められます。

近年、市内の多くの森林が伐期を迎えて、伐採を進める必要がある中、林業経営は木材価格の低迷や担い手不足などの課題に対応するため、森林資源の有効活用として、木質バイオマス発電など再生可能エネルギーへの転換を促進し、林業の収益性向上と地域経済への波及効果を図ることが重要です。併せて、新規就業者の確保や人材育成への支援も不可欠です。

また、ツキノワグマやイノシシ、シカ、ハクビシン等の出没が増加しており、農作物被害や人的被害が懸念されています。

#### ① 農業販売額の推移

(単位：百万円)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
農業販売額	6,637	6,347	7,050	6,395	5,990	6,500

資料：新岩手農業協同組合

#### ② 販売額の推移

(単位：百万円)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
畜産物販売額	1,565	1,273	1,518	1,212	1,120	1,241
生乳販売額	1,505	1,469	1,468	1,436	1,537	1,607
花き販売額	1,142	1,337	1,186	1,230	1,205	1,144
うち リンドウ (切花)	1,074	1,263	1,112	1,145	1,124	1,069
野菜特産販売額	937	976	890	808	838	880
うち ほうれん草	312	285	261	226	200	203
米穀販売額	1,488	1,587	1,381	1,301	1,288	1,626

資料：新岩手農業協同組合

### ③ 認定農業者数の推移

(単位：経営体)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
認定農業者数	500	514	498	494	476	434
うち法人数	36	40	44	44	44	43

資料：農林課

### ④ 林業就業者数の推移

(単位：人)

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
男	245	185	138	138	131	119
女	75	51	35	35	36	21
合計	320	236	173	173	167	140

資料：国勢調査

## (2) 施策の方向性

農業の中心的な担い手の育成、耕作放棄地の解消、特産品の育成、販路拡大、林業の持続的経営に取り組み、活力ある地域社会の実現を目指し、以下のとおり農林業のさらなる発展と持続可能性の向上を図ります。

認定農業者や集落営農組織への支援を継続し、経営改善や法人化を促すとともに、AI、IoT<sup>3</sup>等の先端技術の活用を推進し、省力化と生産性の向上を目指します。

新規就農者への支援や、学校給食への地元食材の活用も継続し、地域農業への理解促進と担い手の確保を進めます。

リンドウの産地拡大と中規模経営体の育成を推進し、海外展開によるブランド力強化を図ります。野菜振興では、地域特性に適した作物の生産拡大を支援し、関係機関と連携した販路拡大を進めます。

市営・民営牧野や繁殖育成センターの活用を促進し、飼養頭数の維持・増頭を図るとともに、「いわて八幡平牛」の消費拡大と流通環境の整備を支援します。

林業については、森林整備事業や高性能林業機械の導入を継続し、計画的な伐採・再造林を推進します。木質バイオマスの利活用による雇用創出や、若者の新規就業支援を通じて、林業の持続的経営と地域定住の促進を図ります。

鳥獣被害防止計画を定め、関係機関との連携により、農作物被害等の把握や有害鳥獣駆除体制の構築を図るとともに、電気柵の設置や誘引物の適正処理等の侵入防止・環境管理対策の促進を図ります。

<sup>3</sup> IoT (アイオーティー)：「Internet of Things」の略称で、「モノのインターネット」と呼ばれ、あらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすること

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
認定新規就農者の数	2人	4人	累計15人	農林課
農業販売額	6,637百万円	6,500百万円	6,500百万円	新岩手農業協同組合 農畜産物販売実績
花き販売額	1,142百万円	1,144百万円	1,250百万円	新岩手農業協同組合 農畜産物販売実績
振興作物の栽培面積(水田活用)	205ha	191.1ha	180.1ha	市水田活用計画
新規林業従事者数	累計9人	累計13人	累計15人	農林課
森林整備事業実施延面積	2,316ha	3,414ha	4,614ha	農林課

#### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市農業振興地域整備計画
- 八幡平市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 八幡平市鳥獣被害防止計画
- 八幡平市森林整備計画
- 林道施設個別施設計画
- 八幡平市特定間伐等促進計画
- 八幡平市森林経営計画



ルワンダでのリンドウ栽培

## 第3 観光振興と第一次産業の連携



### (1) 現状と課題

豊かな自然環境を活用した観光資源の魅力向上に取り組んでおり、地域製品のブランド化や体験型観光の充実を図る動きが進んでいます。

一方で、観光業と第一次産業の連携体制は十分に確立されておらず、担い手不足や情報発信力の強化、受け入れ環境の整備などが課題となっています。また、観光客満足度調査において、レストラン・買い物の満足度が低く、地元農産物を使った郷土食を提供する店舗や、地元農産物を購入できる店舗の充実が課題となっています。

持続可能な地域経済の構築に向けて、各種産業間の連携強化と地域内外との協働が求められています。

### (2) 施策の方向性

市内の農業、商業、観光業などの各種産業が連携し、イベントでのPRなどにより地域製品の消費拡大や観光客誘致の取り組みを進めます。

「八幡平ドラゴンアイ」などの観光資源に加え、地域の文化や食などを組み合わせた新たな観光商品を開発し、八幡平ブランドを確立します。

また、農林業などと触れあう体験型観光の提供、食文化の伝承も含めた郷土料理の提供など、観光関連事業者だけでなく、各種産業間が連携し、地域全体で観光を盛り上げる仕組みを構築します。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
温泉産直施設利用者数	—	420千人	480千人	商工観光課

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市観光振興計画

## 第4 交流人口・関係人口の更なる創出



### (1) 現状と課題

自然や温泉等の魅力発信により外国人観光客が増加する一方、滞在の短さや交通・受入体制、人材不足が課題であり、長期滞在と地域経済循環の促進が求められています。

スポーツ大会・合宿・教育旅行による宿泊者数は減少傾向であり、少子化の影響による減少に備え、滞在コンテンツの充実と選ばれる地域づくりが課題です。

旅行者ニーズの多様化に対応する観光戦略の構築が必要であり、広域観光ルートや滞在メニューの開発、情報発信・PRの強化が重要です。

また、外国人観光客の誘客など、一般社団法人八幡平市観光協会と連携し、国内外からのより一層の誘客に努めています。

#### ① 観光入込客、観光等宿泊者数

(単位：千人回、千人泊)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
観光入込客数	1,879	1,297	1,521	1,512	1,535	1,550
観光等宿泊者数	514	287	340	375	366	353

資料：市観光統計

#### ② 外国人観光客、スポーツ関係宿泊者

(単位：千人回)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
外国人観光客数	129	0.3	0.1	13	59	82
スポーツ関係宿泊者数	16	2.4	15	20	15	10

資料：市観光統計、市観光協会

### (2) 施策の方向性

持続する観光地として、地域経済の活性化を目指し、以下のとおり観光振興を図ります。

体験・学習の滞在型観光の充実、交通や多言語化対応を含む受入環境の改善、スポーツ合宿の積極的な誘致、地域住民や事業者・ガイド等の担い手育成を進め、自然と共生しながら持続的に地域経済に寄与する観光地づくりを推進します。

また、盛岡広域圏や県北エリアとの連携、さらには高付加価値なインバウンド観光地づくりの取り組みなども含め、県境を越えた広域での連携も強化していきます。

市に何らかの関係を持つ、継続的に関わる関係人口を増加するため、既に取り組んでいる八幡平市応援市民制度をふるさと住民登録制度<sup>4</sup>に移行し継続するとともに、併せて、二地域居住の拠点として選んでもらえるよう、市の特産品のPRや市の魅力の発信を強化します。

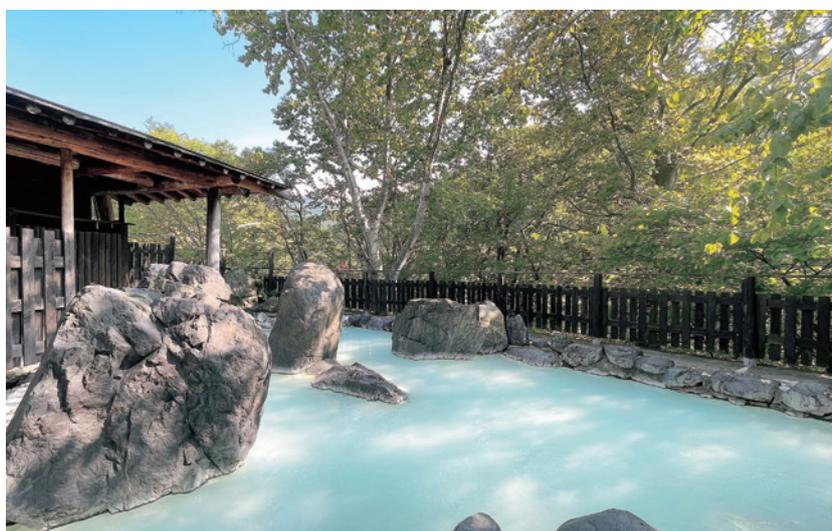
<sup>4</sup> ふるさと住民登録制度：住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる制度

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
観光入込客数	1,879 千人回	1,550 千人回	2,400 千人回	市観光統計
観光等宿泊者数	514 千人泊	353 千人泊	600 千人泊	市観光統計
外国人観光客数	129 千人泊	82 千人泊	220 千人泊	市観光統計
スポーツ関係宿泊者数	16 千人泊	10 千人泊	10 千人泊	市観光協会
日本人観光消費額 (1 人当たり)	—	45,744 円	60,000 円	市観光統計
外国人観光消費額 (1 人当たり)	—	71,399 円	90,000 円	市観光統計
応援市民制度登録者数 (ふるさと住民)	46 人	145 人	245 人	まちづくり推進課

#### 【関連計画 (分野別計画)】

- 八幡平市観光振興計画



峡雲荘



八幡平トレッキング

## 第5 商業の拠点づくり



### (1) 現状と課題

人口減少と消費の大型店への偏重などにより、地元商店の経営環境は厳しく、後継者不足も深刻化しています。持続可能な経営に向けた対応が求められています。

商店街の衰退や高齢化による買い物困難世帯の増加に対応するため、地域の生活支援と商業機能の維持が課題です。大更駅前前の賑わい創出や荒屋新町商店街での体験型イベントの展開など、地域に根ざした商業拠点づくりが今後の重要な施策です。

#### ① 商店街等組織構成員数

(単位：店)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
組織構成員数	62	61	61	59	59	61

資料：市商工会

### (2) 施策の方向性

地域経済の活性化と、市民が便利に安心して暮らせるまちづくりを目指し、以下のとおり商業の振興と地域コミュニティの維持を図ります。

大更駅前商店街への商業施設の誘致を引き続き推進し、拠点となる賑わいを創出するとともに、荒屋新町商店街の体験メニューやイベントを支援し、市内外からの集客と消費の拡大を図ります。

後継者不足や労働力不足に対応するため、商工会等と連携し担い手確保に向けた情報発信や支援事業を強化するとともに、若者の創業やUターン・Iターン者による事業承継を支援し、地域商業の持続性を高めます。空き店舗の実態調査を継続し、創業支援に関する補助金などを活用した新たな事業の創出を促すとともに、空き店舗を、地域住民の交流拠点や若者のチャレンジスペースとして活用することで、商業地の賑わいづくりにつなげます。

高齢者など買い物に困難を抱える世帯の状況を把握し、移動負担の少ない買い物の在り方について検討します。



岩鷲護神ハチマンタイラー

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
商店街等組織構成員数	62店	61店	70店	市商工会
JR花輪線大更駅乗車人数	90千人	68千人	90千人	岩手県統計年鑑

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目（目指す指標）	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
日常用品の市内個人商店の買い物率	27.1%	22.1%	25.0%



八幡平市交流複合施設「8 テラス」

## 第6 豊かな自然（再生可能）エネルギーの積極的な活用



### (1) 現状と課題

市内では、日本初の商業用地熱発電所である松川地熱発電所をはじめ、地熱、水力、風力、木質バイオマス、太陽光など、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入が進められており、化石燃料に依存しない持続可能なエネルギー利用のさらなる推進が求められています。

平成 28 年の電力自由化を契機に地域内での発電と消費を循環させる仕組みとして、令和 6 年に設立された地域新電力会社「株式会社はちまんたいジオパワー」が、地元発電施設からの電力供給を通じた地産地消の実現に取り組んでいます。これにより、地域経済の活性化と環境負荷の低減を両立する持続可能なエネルギー体制の構築が進められています。

### (2) 施策の方向性

エネルギーの自給率向上と脱炭素社会の実現を目指し、以下のとおりエネルギーの地産地消と環境保全を推進します。

豊富な地熱資源を最大限活用し、発電事業のさらなる拡大を支援するとともに、発電した電力を地域内で消費し、エネルギー資金の域内循環を図ります。

地中熱、雪冷熱など、地域特性に応じた熱エネルギーを有効活用し、公共施設の省エネルギー化と脱炭素化を図ります。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
地域新電力会社市内契約電力	—	9,701kW	22,408 kW	(株)はちまんたいジオパワー
温室効果ガス排出量削減率 (対 H25 比)	—	17.3% (※ R4)	46.0%	市環境基本計画

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目 (目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「再生可能エネルギー関連施策について推進していると思う人」の割合	—	56.3%	80.0%



株式会社はちまんたいジオパワー

## 第7 経済活性化と環境保全の両立



### (1) 現状と課題

岩手山や八幡平をはじめとする雄大な自然環境に加え、里山や田園風景など地域に根差した豊かな自然を、市の重要な資産として次世代へ継承していくことが求められています。

令和2年2月には「2050 ゼロカーボンシティ」を表明し、温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す取り組みを推進しています。環境負荷の低減や資源の循環的かつ有効な活用に加え、これらの取り組みを地域経済の活性化につなげる視点が重要です。

再生可能エネルギーの導入や省エネ技術の普及を通じて、関連産業の育成や雇用創出を図るとともに、環境配慮型観光やエコツーリズムの推進により、地域の魅力を高め、交流人口の拡大を目指す必要があります。

また、公害防止対策や不法投棄の防止に向けた取り組みは、住環境の質の向上に資するものであり、定住促進や地域ブランドの形成にも寄与するものです。環境保全と経済振興を両立させる持続可能な地域づくりが、今後の重要な課題となっています。

#### ① ごみ処理の状況

(単位：t)

	焼却処理		資源化処理		埋立処理その他		合計	
	家庭系	事業系	家庭系	事業系	家庭系	事業系	家庭系	事業系
令和元年度	5,592	3,098	786	108	533	83	6,911	3,289
令和2年度	5,623	2,736	800	90	615	108	7,038	2,934
令和3年度	5,454	2,791	800	98	596	108	6,850	2,997
令和4年度	5,500	2,834	776	90	514	121	6,790	3,045
令和5年度	5,309	2,686	714	80	460	113	6,483	2,879
令和6年度	5,260	2,686	682	53	503	104	6,447	2,843

資料：市清掃センター

#### ② ごみ処理場運営に係る費用の推移

(単位：円)

	総額	参 考	
		市民1人当たり	1世帯当たり
令和元年度	327,642,833	13,421	31,133
令和2年度	327,696,267	13,641	30,985
令和3年度	328,774,727	13,981	31,149
令和4年度	341,533,438	14,714	32,096
令和5年度	356,865,881	15,720	33,622
令和6年度	339,989,561	15,270	31,810

資料：岩手県人口移動報告年報、市清掃センター

### ③ 一般廃棄物のリサイクル状況

(単位：%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
リサイクル率	10.5	10.6	10.4	10.3	9.8	9.8

資料：一般廃棄物処理実態調査

### ④ し尿処理の状況

(単位：kL)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
し尿処理量	9,398	9,398	9,129	8,998	8,153	7,882
浄化槽汚泥処理量	5,805	5,355	5,671	5,673	5,935	6,338

資料：盛岡北部行政事務組合

## (2) 施策の方向性

環境保全に関する取り組みを地域経済の活性化に結び付けるため、以下のとおり取り組みを推進します。

市民・事業者と連携し、自然環境保全を地域ブランドとして確立します。豊かな自然を活かしたグリーンツーリズムやエコツアーを推進し、新たな観光需要を創出します。

温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、省エネ化や再生可能エネルギーの導入、J-クレジット制度<sup>5</sup>による取り組みを継続していきます。再生可能エネルギー関連産業などSDGsを推進する企業の誘致や、エネルギーの地産地消による地域内経済循環を推進します。

ごみの減量化・リサイクルを徹底し、リサイクル関連産業の育成・誘致を検討します。また、不法投棄を防止するため、パトロールを継続実施し、不法投棄に対する監視に努めます。

## (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
ごみの総排出量	10,200 t	9,305 t	8,318 t	市清掃センター
資源ごみ集団回収量	156 t	94 t	207 t	市民課
リサイクル率	10.5%	9.8%	20.6%	市民課
水質調査環境基準適合率	83%	81%	90%以上	市民課

### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市環境基本計画
- ごみ処理基本計画
- 八幡平市一般廃棄物処理実施計画書
- 八幡平市地球温暖化対策実行計画

<sup>5</sup> J-クレジット制度：省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

## 第3章

# 健やかで、うるおいに満ちたまちづくり

みんなが心身ともに健やかでうるおいを感じるよう、健康づくりや医療環境の整備に努め、健康でいきいきと活躍ができる、意欲的に暮らすことができるまちづくりを目指します。

## 第1 心身ともに健やかに暮らせる社会の推進



### (1) 現状と課題

生活習慣病の予防と重症化予防は全国的な課題であり、特定健診の受診率向上と特定保健指導の充実を通じて、生活習慣の改善を図る取り組みが引き続き求められています。

また、社会環境の複雑化や人間関係の変化に伴い、心の健康に不調を来す市民が増加傾向にあることから、地域における見守り体制の強化や相談支援の充実を図り、悩みを抱える人に早期に気づき適切な支援につなげることが必要です。

要介護状態となる可能性が高い後期高齢者の増加が見込まれ、認知症を含む支援が必要な高齢者の増加や一人暮らし・高齢者のみの世帯の増加に伴い、家庭内での介護力の低下が懸念されています。要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるよう、生活支援サービスの充実などを図る必要があります。

#### ① 健康診査受診率

	令和元年			令和6年		
	受診者 (人)	受診率 (%)	がん発見者 数(人)	受診者 (人)	受診率 (%)	がん発見者 数(人)
胃がん検診	2,470	29.0	2	1,330	18.8	5
大腸がん検診	3,591	41.3	5	2,884	40.7	3
肺がん検診	3,765	44.3	7	2,882	41.3	3
乳がん検診	937	38.9	5	647	32.0	6
子宮頸がん検診	933	35.7	2	596	28.0	1
前立腺がん検診	1,322	39.4	5	1,037	32.6	6
肝炎ウイルス検査	248	—	—	59	—	—
骨粗しょう症予防検診	318	20.3	—	197	11.0	—
歯周疾患・予防健診	205	11.9	—	203	11.7	—
脳ドック助成	64	3.9	—	52	3.8	—

資料：健康こども課

## ② 要介護認定者（第1号被保険者）の推移

(単位：人、%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
要支援1	132	131	139	150	133	146
要支援2	191	196	184	186	192	200
要介護1	370	374	362	373	395	372
要介護2	374	376	375	358	336	354
要介護3	336	363	362	350	340	342
要介護4	271	273	294	325	318	280
要介護5	279	285	264	226	218	196
合計	1,953	1,998	1,980	1,968	1,932	1,890
認定率	19.4	19.7	19.5	19.4	19.2	18.9

資料：介護保険事業状況報告（各年度9月）

## ③ 認知症の人数

(単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
認知自立度Ⅱa以上の人数	1,458	1,529	1,507	1,451	1,365	—

資料：盛岡北部行政事務組合

## (2) 施策の方向性

市民一人ひとりが心身ともに健やかに暮らせる、健康長寿社会の実現を目指し、以下のとおり取り組みを推進していきます。

健診を受診しやすい環境を整備し、特に働き盛り世代の健診受診率向上を図るとともに、健診結果に基づく保健指導や、健康状態に応じた継続的な支援を強化し、生活習慣病の重症化予防に取り組みます。併せて、食生活の改善等の取り組みも継続していきます。

メンタルヘルスに関する相談体制を強化し、市民の心の健康に関する不安や悩みに対応します。ストレス軽減や心の健康維持に向けた啓発活動や講座を充実させ、市民の生活の質向上を図ります。

ふれあいいきいきサロン、高齢者健康教室やシルバーリハビリ体操など、介護予防と保健事業を一体的に実施し、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、主体的に社会に参加できる機会を増やし、生きがいを持って活動できる場を提供します。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
乳幼児健診受診率	98.7%	100.0%	100.0%	乳幼児健診結果
特定健診受診率(国保被保険者)	41.2%	40.7%	45.0%	特定健診受診結果
各種がん検診受診率	38.1%	33.0%	50.0%	5大がん検診受診率
要介護認定率(第1号被保険者)	19.4%	18.9%	18.7%	介護保険事業状況報告
生きがいのある人の割合	—	50.6% (※ R5)	57.0%	地域福祉課

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目(目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「健康維持のため日常の取り組みを行っている人」の割合	53.8%	56.9%	60.0%
「1年間に健康診断や検診を受けた人」の割合	84.1%	83.1%	87.0%

#### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市地域福祉計画
- 八幡平市健康づくり21プラン～健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画～
- 八幡平市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画
- 八幡平市高齢者福祉計画
- 八幡平市男女共同参画計画



松尾地区サロン連絡会シルリハ

## 第2 地域で支え合う福祉の推進



### (1) 現状と課題

「地域で共に助け合い、支え合う」意識の醸成を図るとともに、障がい者や高齢者の生活を地域全体で支えるネットワークの整備、災害時における避難支援体制の構築など、包括的な支援体制の充実が必要です。

生活保護世帯数は近年減少傾向であるものの、核家族化の進行により高齢者世帯の割合が高まっており、生活困窮者への支援を含めたセーフティネットの強化が求められています。

生活習慣病に起因する内部障がいや、統合失調症・発達障がいなど精神的障がいの増加に対応するため、保健・医療・福祉の連携による予防・早期発見・適切な支援体制の整備が重要です。

#### ① 福祉ボランティア団体登録会員数

(単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
登録会員数	499	400	307	307	299	284

資料：市社会福祉協議会

#### ② 各種事業利用者数

(単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
地域活動支援センター利用者数	28	25	22	15	16	14
就労継続支援利用者及び一般就労(継続・移行)者数	112	110	103	108	111	125

資料：地域福祉課

#### ③ 生活保護世帯数

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
世帯数(年度末現在)	150	156	150	158	147	135

資料：地域福祉課

## (2) 施策の方向性

高齢者や障がい者などすべての市民が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、互いを支え合う社会の実現を目指し、以下のとおり地域福祉の充実を図ります。

高齢者や障がい者、子育て世代など支援が必要なすべての人々が、住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう、医療・介護・福祉を一体的に提供する地域包括ケアシステムを深化させます。民生委員や地域住民との連携を強化し、見守りや支え合いの仕組みを構築します。

災害時避難行動要支援者の個別避難計画策定を、自主防災組織や自治会と連携して推進します。福祉ボランティア活動の意義を広く周知し、活動団体の拡大を支援します。

## (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
福祉ボランティア団体登録会員数	499人	284人	350人	市社会福祉協議会
地域活動支援センター利用者数	28人	14人	20人	地域福祉課
就労継続支援利用者及び 一般就労(継続・移行)者数	112人	125人	125人	地域福祉課

### 【関連計画(分野別計画)】

- 八幡平市地域福祉計画
- 八幡平市障がい者計画
- 八幡平市障がい福祉計画・八幡平市障がい児福祉計画



市立病院まるわかりフェスタ

## 第3 安心してできる医療の充実



### (1) 現状と課題

閉院などに伴う常勤医師の数の減少や医師の高齢化により、医療従事者の慢性的な不足が続いています。持続的な人材確保に向けて、看護師の養成を含む人材育成が重要です。

地域医療の中核である八幡平市立病院の医療体制を引き続き整備・充実させ、市民の医療ニーズに的確に応える必要があります。

また、生活様式の変化に伴う疾病構造の多様化に対応するため、在宅医療を含む包括的な医療提供体制の構築が求められています。

#### ① 医療機関の数

(単位：施設)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
病院	2	2	2	2	2	2
一般診療所	8	8	8	8	8	7
歯科診療所	10	10	10	10	10	9

資料：健康こども課

### (2) 施策の方向性

持続可能な医療提供体制の構築を目指し、以下のとおり医療提供体制の充実を図ります。

盛岡広域圏の医療機関との連携をさらに強化し、市民がいつでも安心して(救急)医療を受けられる環境を整備します。また、産婦人科等への通院の支援について検討します。

医師や看護師をはじめとする医療従事者の確保と定着を図るため、遠隔診療の拡充も含め、医療従事者が働きやすい職場環境づくりを支援し、離職防止に努めます。

### (3) 目標とする成果指標

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目 (目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「市内の地域医療に安心感を持っている人」の割合	27.8%	41.6%	45.0%
「いざというときに相談できる、かかりつけ医がいる人」の割合	45.4%	54.4%	60.0%

#### 【関連計画 (分野別計画)】

- 八幡平市立病院経営強化プラン

## 第4章

# 学ぶ喜びにあふれたまちづくり

世代を超えてともに学び、ふるさとを知り、学ぶことの喜びを実感できるよう、文化・芸術活動や体を動かす機会の創出に努め、健やかで心豊かなまちづくりを目指します。

学ぶことにより、新たな挑戦に前向きになれるようなまちを創造し、未来への希望を育んでいきます。

## 第1 地域に根ざした子どもの教育の充実



### (1) 現状と課題

少子化に伴う児童生徒数の減少により、長期的な視点で学校の再編を検討する必要があります。

学力向上に向け、小中連携を強化し、義務教育9年間を見通した段階的な指導により、基礎学力の定着を図ることが重要です。また、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした子ども主体の授業実践の充実が求められます。

郷土を愛し大切にしている心情の育成や社会参画意識の醸成に向け、総合的な学習の時間やキャリア教育の更なる充実が必要です。さらに、コミュニティ・スクールの取り組みにより、地域と連携した学校づくりを進めるとともに、GIGAスクール構想<sup>6</sup>や「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現に向けてICT<sup>7</sup>環境の一体的な整備と活用をさらに進めることが求められます。

市内唯一の高等教育機関である平館高等学校の生徒数減少も課題であり、魅力向上による入学者確保が求められます。

直近では、ハロウインターナショナルスクール安比校の開校により、様々な分野での交流が図られ、国際交流などの機運の高まりがみられます。

<sup>6</sup> GIGAスクール構想：1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現すること

<sup>7</sup> ICT（情報通信技術）：Information and Communication Technologyの略称で、情報や通信に関する技術の総称

## ① 児童生徒数

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
大更小学校	356	355	358	361	351	326
田頭小学校	53	48	48	50	53	49
平笠小学校	34	34	36	36	34	35
平館小学校	95	99	96	89	88	93
寺田小学校	54	54	54	44	42	43
松野小学校	82	83	85	86	75	75
寄木小学校	81	81	81	71	62	51
柏台小学校	40	36	37	32	34	25
安代小学校	83	81	86	95	87	85
田山小学校	31	23	24	22	21	21
西根中学校	249	240	234	212	221	230
西根第一中学校	86	93	78	91	73	71
松尾中学校	118	90	89	101	115	114
安代中学校	76	68	61	47	47	46
合計	1,438	1,385	1,367	1,337	1,303	1,264

資料：教育総務課

## (2) 施策の方向性

時代の変化に対応し、すべての子どもたちの可能性を最大限に引き出す質の高い教育の実現を目指し、以下のとおり教育の質向上を図ります。

児童生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえ、保護者や地域との対話を重ねながら、中長期的な視点での小中学校の適正規模・適正配置を進めます。スクールバスの運行など、子どもたちが安全に安心して通学できる環境を維持・確保します。

「主体的・対話的で深い学び」を推進し、基礎学力の定着と、思考力・判断力・表現力の育成を目指します。GIGAスクール構想を最大限に活用し、個別最適化された学びと協働的な学びを両立できる教育環境を整備します。

学校運営協議会を核として、保護者や地域住民と連携し地域資源を活用した学習機会を充実させます。子どもたちの郷土愛を育むため、地域の歴史、文化、産業を学ぶ時間を設け、地域に誇りを持つ心を育てます。併せて、国際交流や異文化の理解等の機会を増やします。

発達段階に応じたことばの教室や学習支援員によるサポートを継続・拡充し、すべての子どもたちが自信を持って学べる環境を整備します。

平館高等学校への支援を継続し、同校の特色や魅力の情報発信、中高連携強化などの支援に努めるとともに、教育の充実と企業による就労体験など地域連携を強化します。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目		参考値 (H31・R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
全国学力・学習状況調査					
小学校 6年	国語・算数 (対県比)	国 98% 算 92%	国 97% 算 90%	国 100% 算 100%	児童質問紙調査 (積極肯定+ 肯定回答)
	「将来の夢や目標を持っていますか」	82.9%	83.5%	85.0%	
	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」	—	90.0%	95.0%	
中学校 3年	国語・数学 (対県比)	国 100% 数 89%	国 96% 数 93%	国 100% 数 100%	生徒質問紙調査 (積極肯定+ 肯定回答)
	「将来の夢や目標を持っていますか」	77.7%	77.2%	80.0%	
	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」	—	94.8%	95.0%	
平舘高等学校生徒数		183人	108人	150人	平舘高等学校

#### 【関連計画 (分野別計画)】

- 八幡平市小中学校適正配置計画



松野小1年生の授業の様子

## 第2 文化・芸術に取り組む環境づくり



### (1) 現状と課題

地域に受け継がれている歴史や文化を次世代に伝えていくため、文化財の保護が必要です。特に伝統芸能は、少子高齢化や後継者として期待される若者の流出による担い手の不足により、存続が危ぶまれている団体も見受けられます。

これまで集落単位で行われてきた伝承活動を広域的に取り組むことで、伝承者を増やしていくなど、対応が求められています。

また、市内の芸術文化団体などから、多目的な文化交流拠点など、活動の場の充実を求められています。

### (2) 施策の方向性

市民一人ひとりが文化と芸術に親しみ、地域への誇りを育むことができる社会の実現を目指し、以下のとおり文化・芸術活動の充実を図ります。

市民の文化芸術活動を支援し、活動の発表機会や作品の展示機会などを充実させることで、市民の主体的な文化活動を促進します。

市の無形民俗文化財を映像記録として保存するとともに、担い手育成を支援し、伝統文化の次世代への確実な継承を目指します。有形・無形文化財を広く市民に周知し、地域資源としての魅力を再発見する機会を創出します。

効率的な文化交流拠点の活用方法を検討し、市民がより質の高い文化芸術に触れる機会を増やします。



浅沢神楽（市指定無形民俗文化財）

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
活動している伝統芸能の数	—	13 団体	13 団体	文化スポーツ課
市芸術祭来場者数	1,811 人	1,588 人	1,800 人	文化スポーツ課

#### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目 (目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「ここ1年で演劇、コンサート、展覧会などに参加・鑑賞した人」の割合	43.3%	40.4%	45.0%
「文化や伝統を保存、継承する活動をしている人」の割合	10.1%	11.4%	12.0%

#### 【関連計画 (分野別計画)】

- 八幡平市文化芸術推進基本計画



平笠裸参り (市指定無形民俗文化財)

## 第3 スポーツ・生涯学習に取り組む環境づくり



### (1) 現状と課題

多様なスポーツ・レクリエーション施設が整備されており、年齢や体力に応じた幅広いニーズに対応できる環境が整っています。今後は、誰もが気軽に参加できる場の充実と、競技志向層への支援の両面から、さらなる環境整備が求められます。

地域づくりの観点からは、地域振興協議会などによる世代を超えた運動機会の提供が重要であり、健康づくりの担い手としての役割が期待されています。

スポーツ振興と競技力向上に向けては、指導者の育成が不可欠であり、市体育協会や各競技団体、スポーツ推進委員との連携による普及体制の強化が必要です。

また、平成26年度から地区公民館をコミュニティセンターへ移行し、多様化する市民の学習ニーズに対応した生涯学習機会の提供を進めています。一方で、地域間の取り組みの格差が課題であり、広域的かつ体系的な事業の充実が求められています。

#### ① スポーツ施設利用者等

(単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
スポーツ施設利用者数	172,059	116,610	125,607	134,906	142,337	141,771
体育事業等参加者数	9,218	2,936	3,414	4,163	3,980	4,700

資料：文化スポーツ課

#### ② 図書館来館者数等

(単位：人・点)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
来館者数	22,971	19,256	19,246	16,563	16,138	16,506
貸出点数	68,443	74,257	73,024	65,447	61,425	57,650

資料：市立図書館

### (2) 施策の方向性

スポーツと学びを通じた活力ある地域社会の実現を目指し、以下のとおり市民の健康増進と生涯学習の充実を図ります。

市民のニーズに応じた多様なスポーツイベントやプログラムを企画・実施するため、施設の有効活用を促進します。地域や集落の小規模な施設を活用し、高齢者から子どもまで、誰もが日常的に継続できる運動の機会を提供します。

恵まれた自然環境や充実したスポーツ施設を活かし、さらにスポーツ合宿や各種大会の誘致を積極的に行います。スポーツイベントを地域経済の活性化につなげるため、観光振興策と連携した施策を展開します。

多様な学びの機会を提供するため、コミュニティセンターなどを拠点とし、年齢や関心に応じた多様な生涯学習プログラムを提供します。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
スポーツ施設利用者数	172,059人	141,771人	142,000人	文化スポーツ課
体育事業等参加者数	9,218人	4,700人	7,500人	文化スポーツ課
まちづくり出前講座への参加者数	752人	1,173人	1,200人	文化スポーツ課
図書館来館者数	22,971人	16,506人	30,000人	市立図書館

《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目（目指す指標）	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「週1回以上スポーツなどで体を動かしている人」の割合	23.4%	26.0%	30.0%

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市スポーツ推進計画
- 八幡平市生涯学習推進計画



八幡平サイクリング

## 第5章

# 安心・安全で快適なまちづくり

みんなが安心・安全に暮らすことができる社会基盤を維持・整備するとともに、行政サービスの向上等、市民が快適に暮らすことができるまちづくりを目指します。

## 第1 社会基盤の維持・整備



### (1) 現状と課題

市内には、基幹道路として国道282号、東北自動車道・八戸自動車道が縦貫しています。

道路施設は橋梁等の老朽化が進行しており、長寿命化による更新費用の抑制と平準化が課題です。加えて、学校周辺や商店街など歩道整備を含め、安全対策を強化する必要があります。また、特別豪雪地帯を抱え、冬季の除雪体制の充実による交通安全の確保も重要です。

地域経済の拠点形成と併せて、周辺住宅地の整備によるコンパクトな街並みの構築が課題となっています。公園・緑地は市民の憩いや交流の場としての役割が大きく、全年齢層が利用しやすい環境整備が求められます。

水道事業においては、人口減少に伴う水需要の変化や老朽施設の統合による効率的な施設配置が課題であり、未給水地区への対応や老朽管の更新を含めた持続可能な経営体制の構築が必要です。下水道については、水質改善が進む一方で、未接続世帯の存在や老朽施設の修繕・機能強化が課題となっており、未整備区域の早期整備に向けた手法の検討が求められています。

#### ① 市道の状況

(単位：m、%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
実延長	945,023	947,067	947,110	947,112	946,719	947,389
改良済延長	722,437	724,419	724,461	724,464	724,099	725,026
舗装延長	622,001	624,897	624,940	624,973	624,763	625,540
道路改良率	76.4	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5
道路舗装率	65.8	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0

資料：建設課

## ② 給水戸数及び給水人口の推移

(単位：戸、人、%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
給水戸数	8,614	8,641	8,679	8,644	8,655	8,606
給水人口 (A)	20,686	20,350	19,954	19,617	19,265	18,919
行政人口 (B)	25,076	24,659	24,176	23,777	23,362	22,949
水道普及率 (A/B)	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.4

資料：上下水道課

## ③ 公共下水道、農業集落排水及び浄化槽の接続人口の推移

(単位：人、%)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
公共下水道	6,311	6,457	6,597	6,414	6,350	6,266
農業集落排水	5,521	5,501	5,529	5,463	5,340	5,282
浄化槽	4,959	5,004	5,073	5,166	5,245	5,131
合計 (A)	16,791	16,962	17,199	17,043	16,935	16,679
行政人口 (B)	25,076	24,659	24,176	23,777	23,362	22,949
接続率 (A/B)	65.3	68.8	71.1	71.7	72.5	72.7

資料：上下水道課

## (2) 施策の方向性

日常生活や事業活動に不可欠な生活関連道路の維持管理を徹底するとともに、歩道の整備を継続的に推進し歩行者の安全を確保します。冬期間の交通確保のため、適切かつ効率的な除排雪を実施します。国道や県道の危険箇所の解消、歩道設置については、引き続き国・県へ強く要望していきます。

市内の公園など、誰もが安全に利用できる公共空間の環境整備を進め、地域コミュニティの形成を促します。

J R花輪線沿線から盛岡広域圏への通勤・通学に対応した居住環境を整備し、公共交通と連携した利便性の高い生活圏の形成を目指します。

日本名水百選にも選ばれた良質な水を安定的に供給するため、上水道網の計画的な整備を継続するとともに、生活排水処理施設（下水道・浄化槽）の整備を進め、接続率の向上を図り、市全域で衛生的な生活環境を確保します。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
道路改良率	76.4%	76.5%	76.6%	市道路線認定調書
道路舗装率	65.8%	66.0%	66.1%	市道路線認定調書
水道普及率	82.5%	82.4%	82.4%	上下水道課
汚水処理施設整備率	80.0%	82.9%	86.0%	上下水道課
汚水処理施設区域内接続率	65.3%	72.7%	75.2%	上下水道課

#### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目（目指す指標）	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「地域の道路が歩行者に安全であると思う人」の割合	31.5%	32.2%	35.0%

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市都市計画マスタープラン
- 八幡平市道路整備計画
- 八幡平市長寿命化修繕計画（橋梁）
- 八幡平市道路付属物長寿命化修繕計画（標識）
- 八幡平市舗装長寿命化修繕計画
- 八幡平市除雪事業実施計画
- 八幡平市住宅マスタープラン（八幡平市生活基本計画）
- 八幡平市市営住宅長寿命化計画
- 八幡平市水道事業基本計画
- 八幡平市水道ビジョン
- 八幡平市汚水処理施設整備計画
- 八幡平市汚水処理施設整備構想
- 八幡平市下水道ストックマネジメント計画
- 八幡平市農業集落排水施設最適整備構想

## 第2 持続可能な公共交通の確保



### (1) 現状と課題

国道 282 号、東北自動車道、J R 花輪線などの広域交通網に加え、生活路線バスやコミュニティバスが運行されており、地域の移動手段として重要な役割を果たしています。

J R 花輪線などの利用者減少や、コミュニティバスが利用しにくい状況も生じており、結果として J R 花輪線などが減便し、通勤や通学などに不便が生じています。

今後は、公共交通の利便性向上と利用促進に加え、利用者ニーズに応じた柔軟な運行が可能なデマンド交通の導入・拡充により、持続可能な交通体系の構築が求められます。

#### ① J R 花輪線乗車人員

(単位：千人)

駅名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
大更駅	90	72	71	67	69	68

資料：岩手県統計年鑑

#### ② 広域生活路線バス利用状況

(単位：人)

路線名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
大更駅前線	40,696	39,121	43,102	50,364	68,028	75,091
平舘駅前線	39,102	36,822	33,213	41,814	69,652	63,344
八幡平マウンテンホテル線 (田頭経由)	80,576	86,935	79,253	67,658	113,271	112,747
八幡平マウンテンホテル線 (平舘経由)	70,048	51,320	39,228	31,907	58,538	60,678
松川温泉線	54,126	49,223	43,608	53,155	83,628	76,106
合計	284,548	263,421	238,404	244,898	393,117	387,966

資料：岩手県北バス（県提供）、事業期間：前年 10 月 1 日～9 月 30 日（利用者集計期間）

※ R5～ICカード活用による集計方法へ変更

### ③ コミュニティバス利用状況

(単位：人)

路線名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
平笠・田頭路線	2,666	2,683	2,872	2,924	3,345	2,975
東大更路線	4,372	3,419	2,874	2,757	2,325	2,251
寺田路線	9,317	7,312	5,693	4,885	5,064	5,126
若谷地路線	3,728	2,709	2,279	2,183	1,950	1,727
大花森路線	3,670	2,777	2,243	2,088	2,063	2,212
前森路線	7,199	5,845	6,353	6,832	5,713	5,950
西根・松尾地区計	30,952	24,745	22,314	21,669	20,460	20,241
荒沢路線(浄法寺路線含む)	7,156	5,661	4,635	4,839	4,395	5,336
田山路線	1,604	1,242	1,387	1,472	1,552	1,389
安代地区計	8,760	6,903	6,022	6,311	5,947	6,725
合計	39,712	31,648	28,336	27,980	26,407	26,966

資料：まちづくり推進課

## (2) 施策の方向性

持続可能な公共交通の実現を目指し、以下のとおり市民生活と経済活動を支える公共交通環境の整備を進めます。

市内と市外、県外を結ぶ「広域交通」であるJR花輪線と路線バス・高速バスは、利便性の高いダイヤ改正をJR東日本に要望する他、サイクルトレインなどの利用促進策を継続して講じるとともに、広域生活路線バス等の維持・確保に努めます。

コミュニティバスが担っている地域内を面的にカバーする交通は、デマンド型運行などの地域の実情に応じた新たな交通手段の導入などを検討し、市民がより利用しやすい公共交通ネットワークを構築していきます。

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
J R花輪線大更駅乗車人員 ※再掲	90千人	68千人	90千人	岩手県統計年鑑
広域生活路線バス利用者数	284,548人	387,966人	390,000人	岩手県
西根・松尾地区コミュニティバス 年間利用者数	30,952人	20,241人	28,000人	まちづくり推進課
安代地区コミュニティバス 年間利用者数	8,760人	6,725人	8,000人	まちづくり推進課
地域内幹線交通年間利用者数	2,554人	1,356人	2,500人	まちづくり推進課

※「広域生活路線バス利用者数」の増はICカード活用による集計方法への変更による

#### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目（目指す指標）	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「バスや電車などの公共交通機関が 利用しやすいと思う人」の割合	26.3%	22.2%	30.0%

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市地域公共交通計画



J R花輪線大更駅前

## 第3 災害・事故・犯罪への対応、危機管理



### (1) 現状と課題

近年の異常気象による災害リスクの高まりに伴い、河川改修等の整備促進が急務であり、国・県への継続的な要望が必要です。土砂災害危険箇所も含め、住民への情報提供や避難体制の強化が求められます。

防災・減災には「自助・共助・公助」の連携が不可欠であり、自主防災組織の結成支援と人材育成が重要です。消防団の体制整備も継続的な課題です。

交通事故件数は横ばい傾向であり、高齢者の割合が高く、免許返納後の移動手段確保などの対策が必要です。

犯罪は日々巧妙さを増しています。地域単位で情報を共有する体制の構築が重要です。

空き家対策については、生活環境への影響を踏まえ、総合的かつ計画的な対策の推進が求められます。

#### ① 火災発生件数

(単位：件、人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火災件数 計	16	8	7	13	6	7
建物	10	5	6	6	4	4
その他	6	3	1	7	2	3
死傷者数 計	0	3	2	4	0	0
死者数	0	0	2	0	0	0
傷者数	0	3	0	4	0	0

資料：八幡平消防署

#### ② 交通事故発生件数

(単位：件、人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
人身事故件数	35	25	13	19	26	22
死者数	0	4	0	1	0	2
傷者数	41	33	14	31	30	27

資料：岩手警察署

## (2) 施策の方向性

市民が安全かつ安心に暮らすことができる、災害に強い持続可能な地域社会の実現を目指し、以下のとおり取り組みを推進します。

自然災害の多発・激甚化に対応するため、土砂災害警戒区域等の周知と、災害発生時の迅速な情報伝達、避難体制の確立を最優先に進めます。市民一人ひとりの防災意識を高めるための啓発活動を強化するとともに、自主防災組織の結成と連携を促進し、併せて個別避難計画の策定を支援し、地域全体の災害対応能力を向上させます。

犯罪や交通事故のない安全な地域を目指し、防犯灯の整備や地域での見守り・防犯活動を支援します。

空き家所有者に対し、管理責任の意識啓発を徹底します。関係機関と連携した相談会や、空き家の有効活用策の情報提供を充実させ、管理不全な空き家の解消と地域環境の保全を図ります。

新たな感染症への対応を含む危機管理体制の強化も急務であり、平時からの情報共有や地域連携、医療・福祉機関との協力体制の構築を図ります。

## (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
火災発生件数	16件	7件	0件	八幡平消防署管内の火災発生状況
消防団員充足率	81.4%	86.3%	95.0%	消防防災・震災対策現況調査
自主防災組織の数	3団体	3団体	10団体	消防防災・震災対策現況調査
人身事故発生件数	35件	22件	0件	岩手警察署管内の交通事故発生状況
刑法犯罪発生件数	54件	20件	0件	街頭犯罪等統計
特定空家等候補件数	125件	378件	378件	空家台帳
個別避難計画策定率	—	31.7%	85.0%	地域福祉課

### 《まちづくりアンケートに係る指標》

質問項目 (目指す指標)	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
「緊急避難場所を知っている人」の割合	78.7%	69.3%	80.0%

### 【関連計画 (分野別計画)】

- 八幡平市空家等対策計画
- 八幡平市空家等対策総合実施計画
- 八幡平市地域防災計画
- 八幡平市国土強靱化地域計画

## 第4 自治体経営（行政サービスの向上）



### （1）現状と課題

情報技術の進展に伴い、ICTを活用した行政サービスの提供や情報の受発信は不可欠となっています。一方で、高齢世代に対する情報機器の活用支援や、誰もが容易にアクセスできる情報提供の仕組みづくりが課題となっています。

また、多文化共生の意識醸成や国際的な知識・経験の蓄積が求められており、姉妹都市・友好都市との連携強化や市民同士の交流事業の推進が必要です。

さらに、市民と行政が協働してまちづくりを進めるためには、市民一人ひとりが主体的にまちづくりに参画できる環境を整備し、施策・事業に関する積極的な情報公開と双方向の情報共有体制を構築することが必要です。

市の行財政に関しては、将来世代への過度な負担を回避するため、事務事業の評価に基づく効率化や柔軟な見直しを行うとともに、住民の多様なニーズに応える行政サービスを提供することが求められています。また、民間委託や指定管理制度の活用によって地域雇用の創出と行政機能の最適化を図ることが重要です。

#### ① 姉妹・友好都市の状況

提携の種類	相手国・都市名、交流・連携内容等
姉妹都市	岩手県宮古市
友好都市	沖縄県名護市
交 流	北海道滝川市（災害連携協定）
	タイ王国タマサート大学
	ルワンダ共和国

資料：まちづくり推進課

#### ② 行財政の状況

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
経常収支比率	98.3	98.3	97.2	97.6	93.3	94.2
実質公債費比率	15.6	16.2	16.9	16.3	15.5	13.8

資料：企画財政課

## (2) 施策の方向性

社会の変化に対応し多様な価値観を尊重しながら、市民と行政が協働しまちづくりに参加する、「開かれたまち」の実現を目指し、以下のとおり取り組みを推進します。

災害時を含め、あらゆる世代に確実に情報が届くようSNSや防災無線など多様な手段を組み合わせた体制を整備します。また、「広報はちまんたい」や「議会だより」は、より多くの市民に親しまれる紙面づくりを目指します。

市民が主体的に市政へ参画するため、市民参加の環境を整え対話を深めることで課題を共有し、多様なニーズに応える体制を強化します。

「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に基づき、近隣市町との産業・医療・福祉分野での連携を深めるとともに、県境を越えた自治体との協力も推進します。さらに、地域団体・企業・大学との協働を通じて、地域資源を活かした持続可能な発展を図ります。

ハロウインターナショナルスクール安比校やタマサート大学との交流を継続し、市民レベルでの国際交流を促進します。

行政課題の多様化・複雑化に対応するため、職員研修を充実させ専門性を高め、行政サービスの質の向上につなげます。

将来にわたり安定した市政運営を実現するため、歳入の確保と事務事業の効率化・見直しを図り、費用対効果を高め、持続可能な財政基盤を築き、将来世代の負担を抑えます。



三ヶ田杯スキー大会に出場したハロウ安比校と安代中の生徒

### (3) 目標とする成果指標

成果指標項目	参考値 (R1)	現状値 (R6)	目標値 (R12)	出典
市ホームページページビュー数	114万PV	150万PV	160万PV	Google analytics
広報はちまんたい満足度	－	89.7%	90.0%	広報アンケート
SNSフォロワー数	－	4,246件	5,700件	企画財政課
姉妹都市交流事業参加者数	0人	27人	40人	まちづくり推進課
友好都市交流事業参加者数	22人	19人	30人	まちづくり推進課
国際交流事業参加者数	485人	121人	480人	まちづくり推進課
経常収支比率	98.3%	94.2%	92.1%	企画財政課
実質公債費比率	15.6%	13.8%	10.4%	企画財政課

#### 【関連計画（分野別計画）】

- 八幡平市行財政改革実施計画
- 八幡平市公共施設等総合管理計画
- 八幡平市公共施設再編計画



伝統文化を体験するタイ・タマサート大学生

※ 市の機構改革による課名等の変更や、関連計画（分野別計画）の更新に伴う計画名の変更など、本計画本体の内容に変更が伴わない場合は、本計画の変更は行わないこととします。

